# Unitech PA962

## 取扱説明書

www.unitech-japan.co.jp

Unitech America　Unitech APAC　Unitech Europe　Unitech Greater China　Unitech Japan

P/N 400424 REV.A
2004.12 **日本語版**

# 目　次


第1章.概要 ..... 4
Unitech PA962とアクセサリ ..... 7
Unitech PA962の各部について ..... 7
PA962背面 ..... 7
最初にメインとバックアップバッテリを充電 ..... 8
Unitech PA962を使用する最初のステップ ..... 9
バッテリパックのインストール ..... 9
PA962へ電源を供給 ..... 9
ON/OFFキーを押す ..... 10
スクリーンの明るさの調整 ..... 10
PA962のキャリブレーション ..... 10
時差、日付、時刻の設定 ..... 10
スタイラスの使用 ..... 11
PCMCIA引き抜きタグ ..... 11
PA962にCFカードを入れる ..... 11
スクリーン保護フィルム ..... 11
Unitech PA962の最初の操作 ..... 11
Flashメモリ ..... 13
キーパッド ..... 14
Alphaキー ..... 14
便利なホットキー ..... 14

第2章キーパッドとスキャナの使用方法 ..... 15
ソフトウェアキーボード(Windows CEキーボード) ..... 16
Windows CEキーボードを開く: ..... 16
文字のキー入力: ..... 16
国際文字サポート: ..... 16
キーボードの移動: ..... 16
キーボードを閉じる: ..... 16
レーザスキャナの使用方法 ..... 17

第3章電源 ..... 18
リチウムイオンバッテリパックの充電 ..... 18
最初にメインとバックアップバッテリを充電する ..... 18
電源ステータス表示 ..... 19
メインとバックアップバッテリの状態をチェック ..... 20
ウォームブート/コールドブート ..... 22
充電について ..... 22
保管と安全についての注意
..... 22
第4章通信 ..... 24
概要 ..... 24
接続 ..... 24
通信設定の変更 ..... 30
同期 ..... 31
同期で何が得られるか ..... 33
受信トレイ中のE-mailの送信と受信 ..... 34
リモートの作業 ..... 34
受信トレイ ..... 35
メールをリモートで送信 ..... 35
メッセージの受信 ..... 36
メッセージの送信 ..... 36
無線LANカードのインストール ..... 38
無線カードクッション ..... 38
無線LANカードの設定 ..... 39
第5章便利なアプリケーションプログラム ..... 42
Scan2Key ..... 42
スキャナ設定 ..... 42
付録 A 技術的な仕様 ..... 44
付録 B OSのアップデート ..... 48
コンパクトフラッシュカードによるOSのアップデート ..... 48
付録 C トラブル処理ガイド ..... 50

## 第1章.　　概要

PA962をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。

PA962は頑丈、小型、そして軽量なパームサイズコンピュータです。PA962はWindows CE® オペレーティングシステムを採用し、レーザバーコードスキャナを内蔵、タッチスクリーン付きのカラーLCD、キーパッド、IrDAインターフェースを実装、そして無線通信機能を利用することができます。PA962は操作や運用を標準的なWindowsベースの環境で行うことができます。このPA962取扱説明書はPA962の使用に必要な内容をご説明しています。

**Unitech PA962**

# 注意

本ユニットにはバッテリパックとバックアップバッテリが実装されています。長期間の保管によるバッテリの放電のためにUnitech PA962の電源が入らないことがあります。

このような場合、PA962にDCジャック付きのRS232またはUSBケーブルを接続するか、またはUnitech PA960/PA962クレードルに置き(12V/2A AC-DCアダプタを使用)、バックアップバッテリを完全に充電するために16時間充電して下さい。

バックアップバッテリは外部電源またはメインバッテリ(メインバッテリに電源を入れることのできる容量が残っている場合)から充電することができます。 メインバッテリが完全に充電されているとしても、メインバッテリがバックアップバッテリを完全に充電するために16時間PA962のご使用を控えて下さい。

バックアップバッテリににによるデータのバックアップは、メインバッテリが実装されていない場合6 時間です。従って、バックアップバッテリの異常によるデータが保護されない問題を避けるために、PA962をメインバッテリを外したままにして置いたりせず、あるいは外部のAC電源を接続して下さい。

## Unitech PA962とアクセサリ

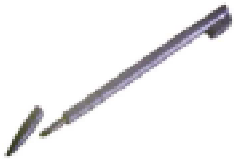
箱を開けた後、以下の付属品があることを確認して下さい。

PA962 本体

PA962 CD

Unitech PA962
使用の手引き

バッテリパック



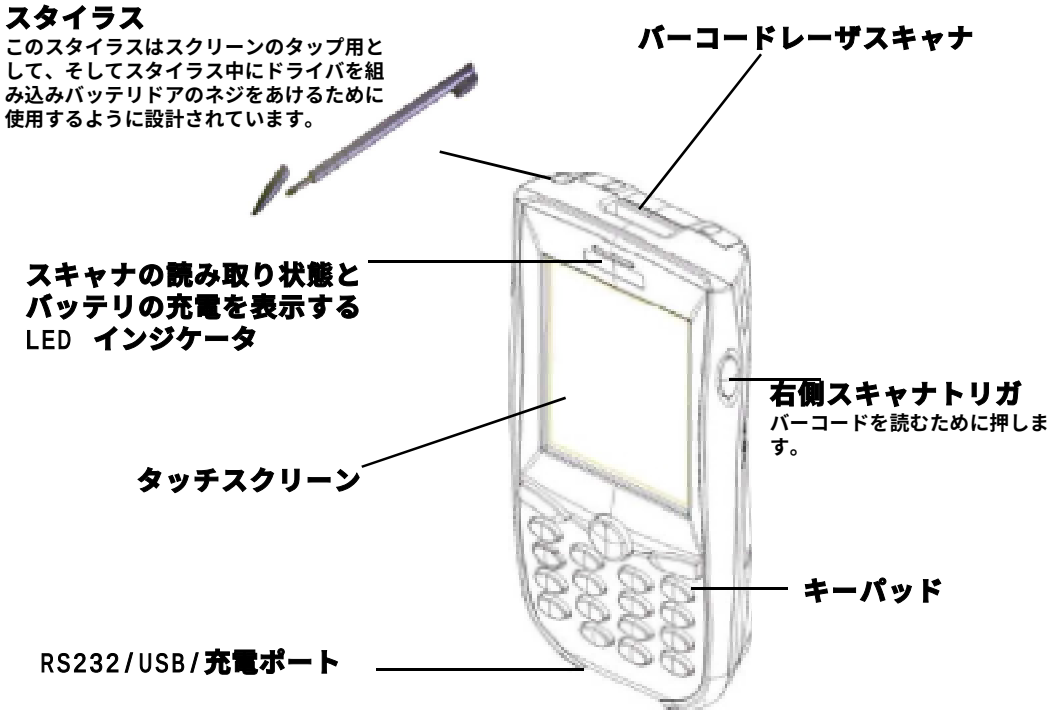
スタイラス

CFスロット
ドロワー

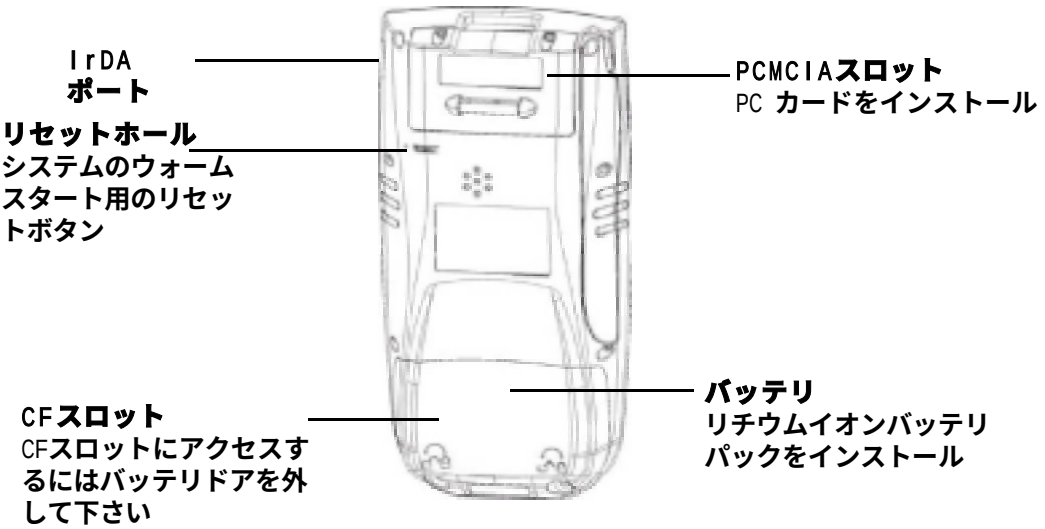
引き抜きタグ

無線LANカードクッション

## Unitech PA962の各部について




PA962 背面



## Unitech PA962を使用する最初のステップ

PA962の電源供給方法は三通りあります:

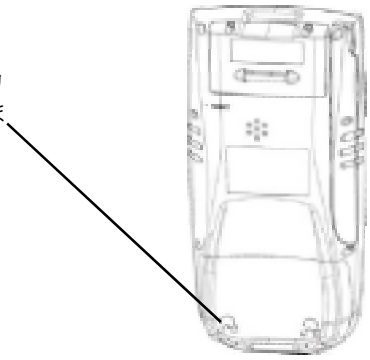
- 充電可能なリチウムイオンバッテリパック
- RS232/充電ケーブルまたはUSB/充電ケーブル
- クレードル(ドッキングステーション)

**注意: 内蔵のバックアップバッテリの充電が正しく完了するまでは入力したデータは保存されないことがあるかもしれません。**

## バッテリパックのインストール

1.

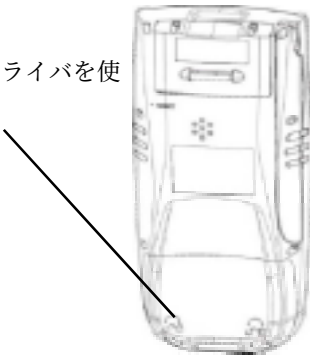
スタイラスのドライバを使用してバッテリドア(本体の裏側下部にあります)を外します。



2.

PA962のラベル側を皆さんの方へ向けてバッテリパックの位置を合わせ、そしてバッテリパックの端子を本体の下部に向けて下さい。バッテリパックを入れてきちっと合わせ、バッテリパックの形がバッテリ部の形と合っていることを確かめて下さい。

3. バッテリパックを合わせ、スタイラスのドライバを使用してバッテリドアを取り付けます。



## PA962へ電源を供給

PA962にRS232/充電ケーブルまたはUSB/充電ケーブルを接続し、そしてACアダプタをケーブルのDCジャックに接続し、そしてコンセントに差し込みます。

あるいは、PA962をクレードル(ドッククキングステーション)に置きます(先に、ドッキングステーションに電源を接続して下さい。)

## 最初にメインとバックアップバッテリを充電

空のバックアップバッテリの充電は16時間必要です。最初の充電は正しく充電が行えるように最低16時間充電を行って下さい。

**注意: ACアダプタを使用せず、そしてバックアップバッテリを完全に充電しないで PA962 を最初に使用した場合、RAMメモリのデータが失われることがあるかもしれません。**

## スタイラスの使用

**注意: スクリーンではPA962のスタイラス以外のものを使用してはいけません。他のものをスタイラスとして使うとスクリーンに損傷を与える恐れがあります。**

1. 鉛筆を持つようにスタイラスを持って下さい。
2. メニューから選択するために、選択するものの上をスタイラスの先で軽くたたきます(**タップ**という)。
3. フォームのフィールドにデータを書く場合、スタイラスを文字や数字を書くために使用します。極めて軽く書いて下さい。

## PCMCIA 引き抜きタグ

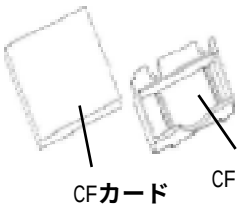
引き抜きタグは単にPA962からPCMCIAカードを外すためのものです。PCMCIAカードを入れる前に、添付のシートから三つのタグの一つを剥がし、短いタブを残してPCMCIAカードの両側に貼って下さい。PCMCIAカードを外す場合、このタブを引いて下さい。
PCMCIA カードが引き抜きタグを付けずにPA962に入れられた場合、カードはカードの片面にテープを貼り、テープの方向にカードを引くことによって抜くことができます。

PCMCIAカードの正面

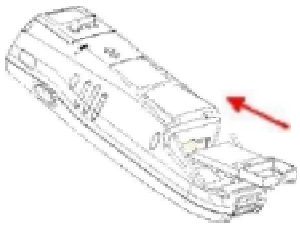
## PA960にCFカードを入れる

PA962パッケージからCFドロワーを出して下さい。CFカードをCFドロワーに入れて下さい。そして、CFドロワーをPA962に入れ、CFスロットドアを付けて下さい。PA962のスタイラスドライバでバッテリドアを取り付けて下さい。

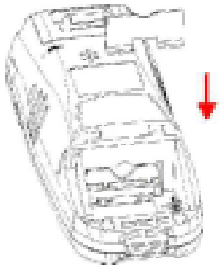
1.




2.



3



## スクリーン保護フィルム

PA962は保護フィルムをスクリーンに貼って出荷しています。フィルムの角を引くことによりはがすことができます。

## Unitech PA962の最初の操作

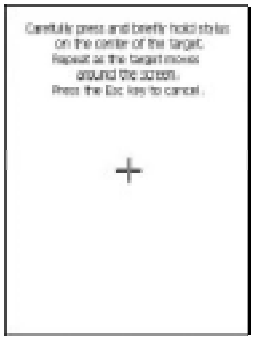
### ON/OFFキーを押す

Unitech PA962の初期画面が現れます。その後で、Windows CEのスクリーンが短時間現れます。

### スクリーンの明るさの調整

スクリーンの明るさを増減するには[FUNC]キーとカーソルキーを押して下さい。

### PA962のキャリブレーション



このスクリーンは最初に電源を入れたとき、あるいはシステムをリセットしたときに現れます。このスクリーンは ホットキー [FUNC] と [ESC] キーを押すことによっていつでもアクセスすることができます。

PA962はスクリーンの位置を連続してタップすることによって本ユニットをキャリブレートするように求めます。やさしく、確実にタップして下さい。一連のタップが終わったら確認として [ENT] キーを押すか、[ESC] キーを押してキャンセルします。

### 時差、日付、時刻の設定

PA962のキャリブレーション後，日付/時刻プロパティダイアローグボックスが現れます。以下のステップに従って日付と時刻をセットして下さい。

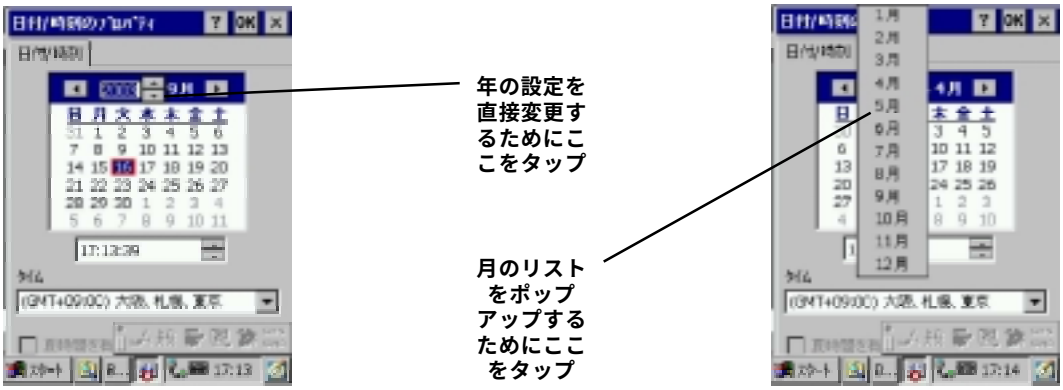
## 最初に時差をセット

以下のステップに従って時差をセットして下さい。

1. 都市のリストを見るために場所の矢印をタップします。
2. 都市を選択します(または近い都市)。
3. 必要なら、夏時間のチェックボックスを選択します。
4. 適用ボタンをタップします。

## 年と月をセット

月をスクロールするために左右の矢印をタップします。

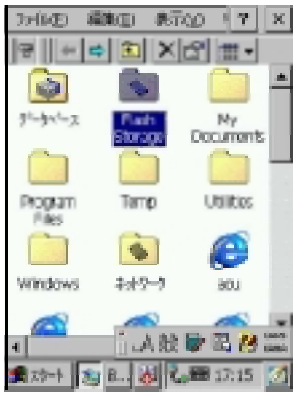



または、年または月の設定を変更するために年または月の場所を直接タップします。

## 日付/ 時刻プロパティ設定の終了

終了するには右上角のOKまたはX(キャンセル) ボタンをタップします。

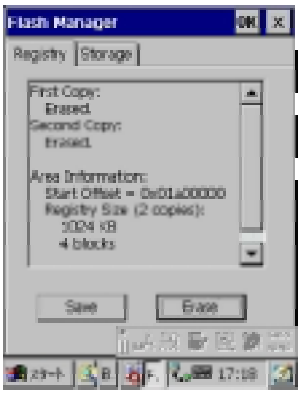
## Flashメモリ




Flashメモリは約30MB以内のプログラムとデータファイルを保存することのできる再書き込み可能な場所です。この機能の利点はFlashメモリに保存されたファイルとプログラムはPA962の電源状態に影響されないと言うことです。

Flashメモリの内容にアクセスするには、デスクトップでマイコンピュータを選択し、そしてFlash Storageを選択します。Flashメモリに保存されているプログラムとデータが表示されます。

Flash Storageに保存するには、ファイル、保存先を選択し、そして他の記憶メディアの選択と同じようにFlash Storage を選択します。



## 第2章.　　キーパッドとスキャナの使用方法

### キーパッド

PA962のキーパッドは、19のキーがあり、カーソルキー、0から9、Alphaキー、ON/OFF、ファンクション、ESC、バックスペース、TAB、そしてEnterキーを含んでいます。以下の写真をご覧下さい。

**ON/OFF**　電源が入っていないときに、On/OFFキーを押すと電源が入ります。あるいは、電源が入っているときに、電源を切るにはこのキーを2秒以上押し下げなければなりません。

**[ESC]**　Escapeキーはタッチスクリーンのキャンセルボタンまたは**X**ボタンをタップするのと同じ機能を実行します。

**[ Back space]**Backspaceキーは直前に入力した文字を消すために使用します。

**[FUNC]**　Funcキーは、数字キーと組み合わせて特別なファンクションを実行するために使用します。

**[TAB]**　Tabキーはデータフィールドの切り換え、プログラミングやワープロのアプリケーションであらかじめ指定された位置にカーソルを移動するために使用されます。

**[ENT]**　Enterキーはプロセスを開始するため、あるいはユーザによって行われた選択を確認するために使用されます。

**[Cursor]**　Cursorキーはアプリケーションでカーソルを移動するために使用されます。

**[Alpha]**　Alphaキーは数字と英字モードを切り換えるために使用されます。Aphaキーは英字モードで CAPSの切替にも使用します。

## Alphaキー

PA962のブート時、標準の状態は数字モードがオンです。英字モードに切り換えるとき、標準の状態はCAPSモードがオフです。

**Alpha モード** alphaモードにするにはalphaを押します。標準ではCAPSがオフです。

**CAPS** CAPSを切り換えるにはAlpahキーを二回押します。

**Key in** 選択した文字を入力するには上向きカーソルを押します。

## 便利なホットキー

PA962は指定されたスクリーン設定機能やプログラムを実行するために8つの組み合わせによるホットキーがあります。これらのホットキーはタッチスクリーンのキャリブレーション、バックライトの切り換え、メニュー方式の操作が使用できないときにスクリーンコントラストを調整するのに便利です。以下はホットキーのリストです。使用するには、 [FUNC]キーを押し下げながら対応する二番目のキーを押します。

**[FUNC] + [ESC]** タッチスクリーンのキャリブレーション

**[FUNC] + [ ]** スクリーンを暗くする

**[FUNC] + [ ]** スクリーンを明るくする

**[FUNC] + [TAB*]** スクリーンとキーパッドのバックライトを切り換える

**[FUNC] + [6]** タスクマネージャ

**[FUNC] + [7]** スキャナ設定プログラムの実行

**[FUNC] + [8]** 電源プロパティ

**[FUNC] + [9]** システム情報

**[FUNC] + [0]** スペース

**[FUNC] + [Cursor]** ディスプレーのバックライトを切り換えるためにファンクションキーと上方向カーソルを使用します。

**[FUNC] + [Cursor]** LED キーパッドのLEDバックライトを切り換えるためにファンクションキーと下方向カーソルキーを使用します。

## ソフトウェアキーボード(Windows CEキーボード)

Windows CEソフトウェアは文字入力のためのタッチスクリーンキーボードを提供しています。Windowsベースのキーボードは標準的なPCキーボードのレイアウトをまねています。

### Windows CEキーボードを開く:

Windows CEキーボードはタスクバーのキーボードアイコンをタップすることによって開くことができます。(図参照)

### 文字のキー入力:

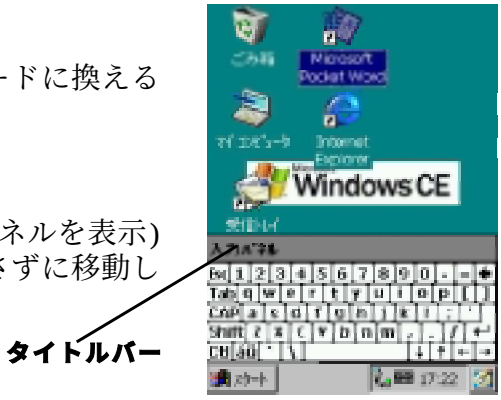
キーボードアイコンをタップした後で、Windows CEキーボードがポップアップします。文字入力はPCのものと同じです。入力したい文字に対応するスクリーンのボタンをタップして下さい。

### 国際文字サポート:

英語キーボードを欧州スタイルのキーボードに換えるには [áü] ボタンをタップして下さい。

### キーボードの移動:

スタイラスをタイトルバー(バーは入力パネルを表示)に当て、スタイラスをスクリーンから離さずに移動します。




### キーボードを閉じる:

Windows CEキーボードを閉じるにはキーボードアイコンをタップして下さい。

## レーザスキャナの使用方法

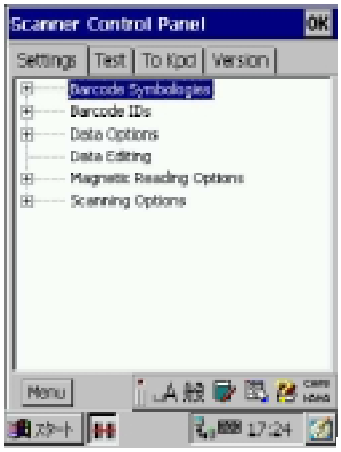
**注意:** スキャナを使用するには読み込みソフトウェアが使用できなければなりません。これはユーザの読み込むアプリケーションまたはあらかじめ書き込まれているScanner Setting.exeユーティリティなどです。

## レーザスキャナ

PA962はレーザスキャナを内蔵しており、たいへんに良い性能でほとんどの主要なバーコードラベルを読み取ることができます。

トリガキーは本体の左右にあります。レーザスキャナを働かせるにはいずれかを押して下さい。

PA962はScanner Settingプログラムを内蔵しており、ユーザがバーコードスキャン機能をテストすることができます。コントロールパネルまたは、Func + 7のショートカットによりアクセスすることができます。



## 第3章　　電源

### リチウムイオンバッテリパックの充電

オプションのクレードル( ドッキングステーション) はPA962を日常的に使用する場合大変便利です。充電は3時間以内で完了します。あるいは、付属の充電/RS232ケーブルまたは充電/ USBケーブルを使用してバッテリパックを約3時間で充電することができます。

### 最初にメインとバックアップバッテリを充電する

**注意:** 最初にPA962を使用する前に、空のバックアップバッテリを完全に充電するために16時間充電して下さい。ACアダプタを使用しないで、そしてバックアップバッテリを完全に充電しないでPA962を最初に使用した場合、バックアップバッテリは RAMメモリに保存されているデータを失うことになるかもしれません。

**注意:** バックアップバッテリによるデータのバックアップはメインバッテリが入っていない場合は6時間だけです。したがって、バックアップバッテリの問題によるデータ保護の問題を回避するために、PA962のメインパッテリパックを外したままにしないか、ACアダプタを接続しないでおくようにしないで下さい。

**PA962　がバッテリ電圧低下のために自動的にオフになり、そしてバッテリをそのままPA962に入れておいた場合、データのバックアップは60時間行われます。**

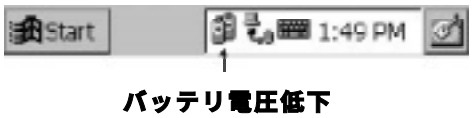
## 電源ステータス表示

4種類のアイコンが電源状態を表示するためにステータスバーに現れます。

**ñプラグòアイコン:** これが表示された場合、このアイコンはバッテリが充電中であることを示します。PA962はDC 12V/ 2A電源アダプタが接続、またはクレードルに入っています。

電源アダプタを接続

**ñバッテリ電圧低下ò アイコン**: これが表示された場合、バッテリ電圧が低下し充電が必要であることを示しています。言い換えると、外部電源がなく、バッテリ電圧が低いのでPA962の充電をすることをお勧めします。



バッテリ電圧低下

**ñバッテリ電圧極めて低下ò アイコン**: これが表示された場合、バッテリ電圧が極めて低くなっています。使用を中止して直ちにPA962を充電されることをお勧めします。

バッテリ電圧極めて低下

**アイコン無し**: これが表示された場合、PA962に外部電源は接続されていませんが、バッテリの状態は良いことを示しています。

**ñバックアップバッテリ電圧低下òアイコン**: これが表示された場合、バックアップバッテリの電圧が低く、充電が必要であることを示しています。

バックアップバッテリ電圧低下

**ñバックアップバッテリ電圧極めて低下ò アイコン**: 表示された場合、バックアップバッテリの電圧は極めて低くなっています。使用を中止して直ちにPA962を充電されることをお勧めします。

バックアップバッテリの電圧が極めて低い

## メインとバックアップバッテリの状態をチェック

**ñ電源プロパティò に入る:**

プラグまたはバッテリアイコンが表示された場合、電源プロパティスクリーンを起動するためにこのアイコンをタップして下さい。

あるいは、**スタート**メニューから**設定/ コントロールパネル**を選択して、電源プロパティを表示するために**パワーマネージメント**アイコンを二回タップして下さい。

**バッテリステータスのチェック:**

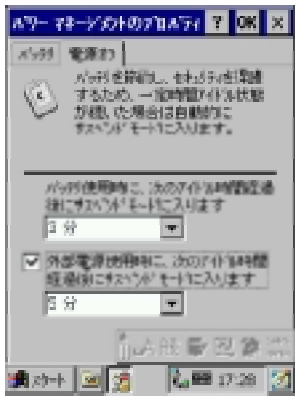
バッテリメニュー項目はメインとバックアップバッテリのステータスを表示します。3種類のステータス表示 ” OK”、 ” 低 ” と ” 残りわずか ” があります。太文字は実際の状態で、例えば、右図のバッテリアイコンは メインとバックアップの両方が良好であることを意味しています。

“ 低 ” または ” 残りわずか ” が太字で表示された場合、バッテリを充電する必要があります。充電後も ” 低 ” または ” 残りわずか ” が表示される場合はユニテック・ジャパンまたはお買いあげの代理店へご連絡下さい。

## バッテリ電源の節約方法

### PA962の自動電源オフ

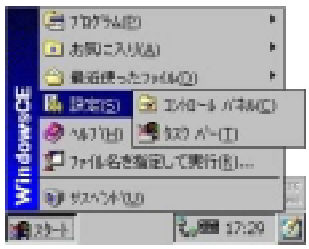
PA962はタスクがない場合、あるいはタスクが入力待ち状態になっている場合アイドル状態になります。標準設定では、PA962は3秒間アイドルが続いて、しかも外部電源源が接続されていない場合、自動的に自身をオフにします。電源ボタンを押すと自動的に電源が切れた時点のポイントにPA962は戻ります。



電源プロパティでは、電源オフのタブをタップして自動的に電源オフにするまでの時間を矢印をタップすることによって選ぶことができます。設定可能な時間は1、2、3、4、と5分です。

この機能はPA962に電源アダプタが差し込まれた場合またはクレードルに置かれた場合、そしてチェックボックスがチェックされた場合に時間のリストから時間のリストをタップすることで使用することもできます。選択可能な時間は1、2、5、10、15と30分間です。

### バックライト設定



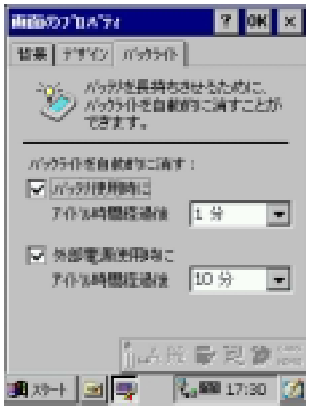

LCDバックライトの消費電力は大きいので、必要でない場合にはバックライトを消して下さい。バックライトが必要な場合は、"バックライトを自動的に消す"機能をセットして下さい。

バックライト設定を変更するには、スタートメニューから設定/ コントロールパネルを選択し、画面アイコンを二回タップして下さい。

以下の三つの選択を表示するために"バックライト"メニューをタップして下さい。

**バッテリ使用時はバックライトを自動的にオフ:**

この機能を切り換えるにはチェックボックスをタップして下さい。設定可能なアイドル時間は: 15 と 30 秒、そして 1、 2、と 5 分です。



**外部電源使用時はバックライトを自動的にオフ:**

この機能を切り換えるにはチェックボックスをタップして下さい。設定可能なアイドル時間は: 15 と 30 秒、そして 1、 2、 5、 10、 15、と 30 分です。

**キーが押されたときにバックライトを自動的にオン**:

この機能はWindows CEのキーボードではなく、PA962のキーパッドでのみ有効です。

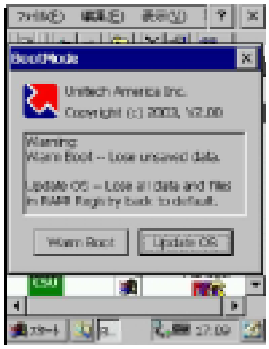
## ウォームブート/ コールドブート

### ウォームブート

- PA962の使用中にウォームブートを行うには、ピン(ゼムクリップなど)をターミナルの背面のPCMCIAカバーの下にあるリセットホールに差し込んで下さい。
- ターミナルのWindowsフォルダの下にBoot Mode.exeといファイルがあります。本プログラムを実行し、警告メッセージを確認して下さい。

**警告: ウォームブートは保存していないデータを失います。**

### コールドブート



PCMCIAカバーの下にあるコールドブートボタンを押して下さい。ターミナルはコールドブートします。

**注意: コールドブートはPA962を工場出荷時の設定に戻します。**

## 充電について

リチウムイオンバッテリパックを充電する場合は周囲の温度について考慮する必要があります。充電は室温、もしくはやや涼しい場所で最も効率的です。-5°C to 50°Cの定格内でバッテリを充電することが基本です。指定した範囲外でのバッテリ充電はバッテリに損傷を与え、寿命を早める可能性があります。

## 保管と安全についての注意

充電したリチウムイオンバッテリは使用されずに数ヶ月放置される場合がありますが、その容量が内部抵抗のために上がってしまうことがあるかもしれません。この場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリは温度範囲が- 20°Cと60°Cの間で保存することができますが、この温度範囲の上の方ではより速く消耗することでしょう。バッテリは室温で保存されるようにお願いいたします。

# 第4章　通信

## 概要

Unitech PA962はデータ通信のためにRS-232、USB、IrDA、または無線通信を通してホストコンピュータとリンクすることができます。

本章は PA962の通信の概要について説明しています。以下のセクションは次のような内容を説明しています:

- RS232またはUSBポートを通したシリアル通信“Microsoft ActiveSync”についての詳細
- モバイルPA962とホスト間の無線通信、“無線通信”の詳細

## 接続

### シリアルまたはUSBケーブル

RS232またはUSB 通信ケーブルの片側をPCの9ピンCOMポートに、そしてもう一方をPA962のRS232/USB/充電ポート(7ページ参照)に差し込みます。RS232またはUSBプラグのDCジャックに電源を差し込みます。

### ドッキングステーション( クレードル)

通信ケーブルのRS232側をPCの9ピンCOMポートに、そしてもう一方をクレードルのRS232ポートに差し込んで下さい。電源をドッキングステーションの電源ジャックに差し込んで下さい。

## ActiveSync

デスクトップコンピュータとPA962間でデータ交換をするために、Microsoft ActiveSyncをデスクトップコンピュータにインストールしなければなりません。

Microsoft ActiveSyncで以下のことができます:

- データ転送
- PA962データのバックアップと復帰
- プログラムの追加とPA962からプログラムを消去

本章では Microsoft ActiveSync version 3.5を紹介しています。ActiveSyncはユーザフレンドリなインターフェースで、MicrosoftのWebサイトから無料でダウンロードすることができます。

### Microsoft Activesyncのインストール

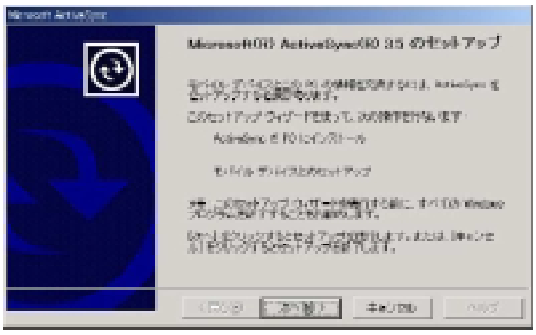
インストールの前に以下をお読み下さい。

- インストール中にコンピュータを再スタートしますので、始める前に作業を保存してすべてのプログラムを終了して下さい。
- 通信設定を行うために、PA962とホストコンピュータを接続するシリアルケーブルが必要です。
- Windows NTのサービスパックを使用している場合、サービスパックを再インストールする必要があることをセットアップ中に求められることがあります。最初に接続してみてうまく行かなければ最新のサービスパックを再インストールして下さい。

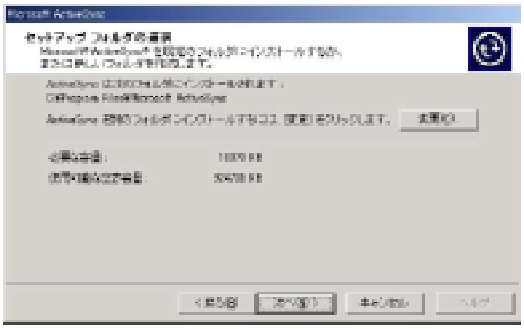
### インストール

Microsoft ActiveSyncをインストールするために以下のインストール手順に従って下さい。 PA962 をデスクトップコンピュータに接続し、そして同期をとるためにパートナーシップを確立して下さい(必要な場合):

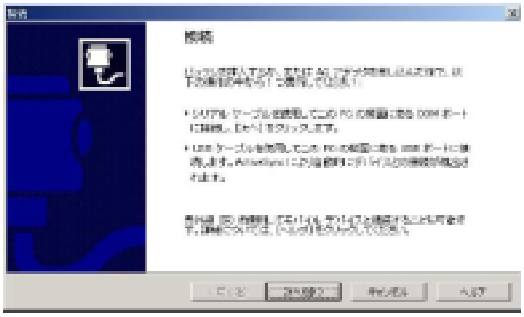
= Microsoft のweb サイト: http://www.microsoft.com/japan/mobile/pocketpc/downloads/activesync3.5.aspから実行形式のプログラムmsaync.exeをダウンロードして下さい。そして、このプログラムを実行して下さい。



= Microsoft ActiveSyncをインストールするフォルダを選択して下さい。表示された標準のフォルダにダウンロードしない場合は、**変更**ボタンをクリックして下さい。



= フォルダを選択した後で、Microsoft ActiveSyncをセットアップするために**次へ**をクリックして下さい。Microsoft ActiveSyncをインストールし、コンピュータを再スタートした後で、以下のスクリーンが現れます:

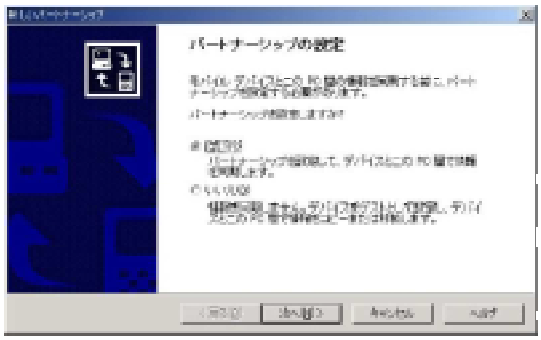


- RS232またはUSBケーブルを使用して、PA962をデスクトップコンピュータの通信ポートに接続して下さい。

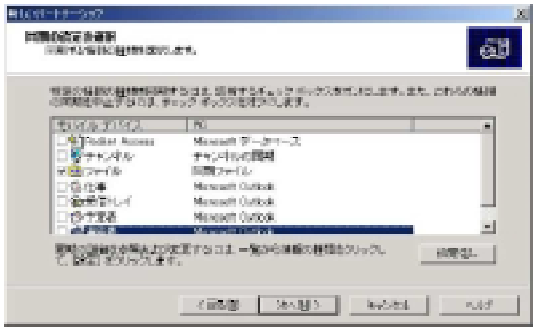
- PA962の電源を入れて下さい。**次へ**のボタンをクリックして下さい。

Microsoft ActiveSynはPA962を認識して通信ポートを設定します。接続が検出されなかったというメッセージが現れた場合、**キャンセル**ボタンをクリックして、マニュアルで通信設定をしてください。詳細は、本章の後ろの「通信設定の変更」をご覧下さい。

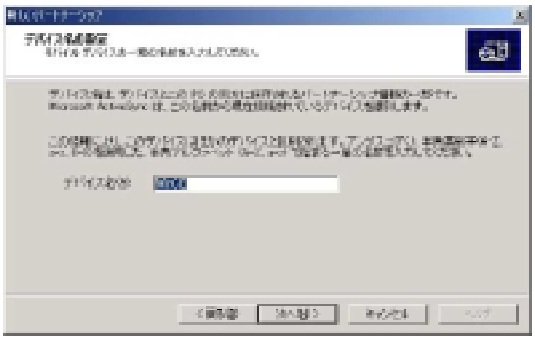
- PA962をPCに始めて接続したときに、パートナーシップの設定を促す次のスクリーンが現れます。パートナーシップの設定は、PA962が他のコンピュータやターミナルと同期を取る場合に必要です。それ以外は**いいえ**を選択して下さい。




- 同期設定をここで選択して下さい。現在 PA962 はファイルの同期をサポートしています。



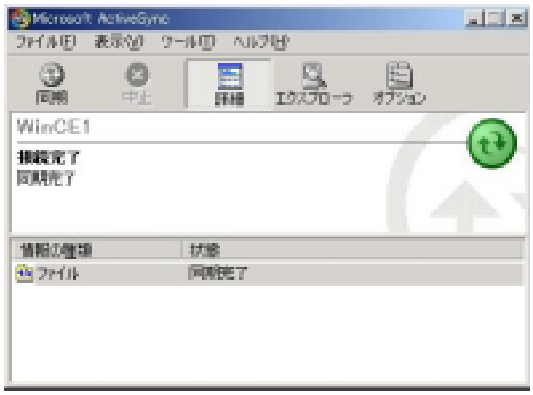
= パートナーシップを通して同一のPCに複数のターミナルを接続する場合、それぞれの PA962 は同じデバイス名を共有することはできません。PA962に割り当てられた標準のデバイス名はWinCEです。同じPCに複数のターミナルが接続される場合は、各ターミナルに異なる名前を指定することが重要です。ActiveSyncが次のスクリーンを表示する場合、各ターミナルに独自のユニークな名前を付けて下さい。



**次へ**のボタンをクリックし、PA962とデスクトップコンピュータ間のパートナーシップをセットアップするために指示に従って下さい。

このパートナーシップは二つのコンピュータ間の情報の同期が可能です。

= 設定が終了したら、次のスクリーンが現れます:



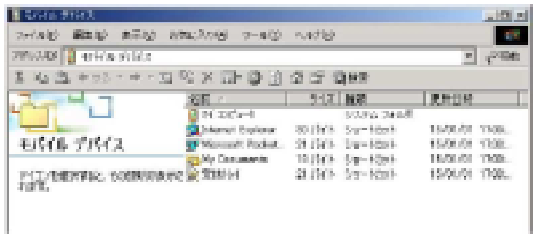

同期が初期化され、周期的もしくは接続時の同期がいずれかの選択した方法で行われます。

**注意: デスクトップコンピュータは複数のPA962とパートナーシップをとることができます。また、PA962は二つまでのデスクトップコンピュータとパートナーシップを作ることができます。**

## モバイルデバイスウインドウの使用

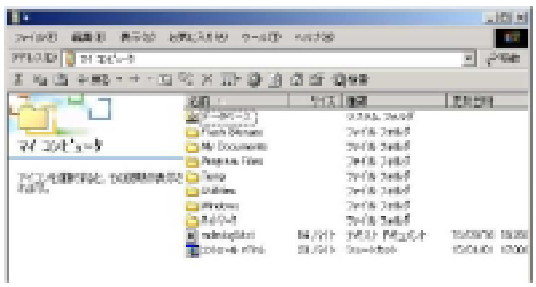
デスクトップの Microsoft ActiveSyncショートカットをクリックすることによってMicrosoft ActiveSyncを開始し、エクスプローラアイコンをクリックして下さい。

= モバイルデバイスウインドウが開きます。




= モバイルデバイスウインドウのデバイスアイコンをダブルクリックしてエクスプローラウインドウを開きます。

PA962のルートウインドウであるこのウインドウを使用して、同期セクションに書かれている通りPA962とデスクトップコンピュータ間でファイルをコピーしたり移動したりすることができます。



## 通信設定の変更

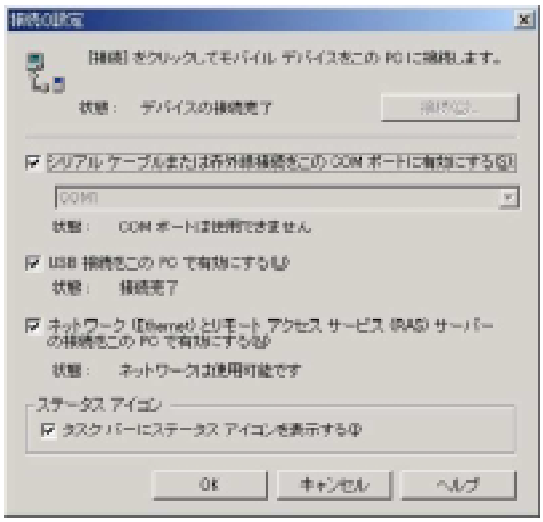
Microsoft ActiveSyncがインストール中にPA962の検出に失敗した場合、セットアップをマニュアルでして下さい。以下の条件を満たしていることを確認して下さい:

- デスクトップコンピュータの正しい通信ポートが選択されており、かつ空いていることを確認して下さい。

- Microsoft ActiveSyncはPA962に接続するために指定された通信ポートを使用します。PA962に接続するためにMicrosoft ActiveSysncにこれらのリソースがあることを確認して下さい。他のプログラムはPA962とデスクトップコンピュータが接続されている間使用することができません。

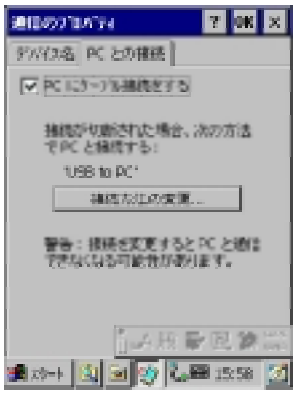
- PA962とデスクトップの転送速度を同じにセットして下さい。

通信設定をチェックするには、モバイルデバイスフォルダを開き、 **ファイル => 接続の設定**をクリックして下さい。




PA962の転送速度は標準では57600 bpsにセットされています。転送速度を変えるには、**スタート、設定、コントロールパネル、通信**をタップし、 **PCとの接続**タブを選択し、そして**接続方法の変更**ボタンをタップします。詳細については、Microsoft ActiveSync のヘルプをご覧下さい。

ターミナルの標準転送速度を変更したいか、あるいはホストPCとの通信でIrDAを使用したい場合、以下のステップに従って下さい:



1. **スタート、設定、コントロールパネル、通信**をタップして下さい。
2. **PCとの接続タブ**をタップして下さい。
3. **接続方法の変更**ボタンをタップして下さい。
4. リストボックスから転送速度を選択して下さい。

## 同期

PA962とデスクトップコンピュータ、両方のコンピュータの現在の情報を同期させることができます。最初にデスクトップコンピュータにMicrosoft ActiveSyncをインストールする必要があります。

Microsoft ActiveSyncセットアップ中に選択したオプションに従って同期が行われます。Microsoft ActiveSyncセットアップウイザードで標準値(**接続時**)を受け入れた場合、PA962とデスクトップコンピュータを接続して、同期を行うことができます。

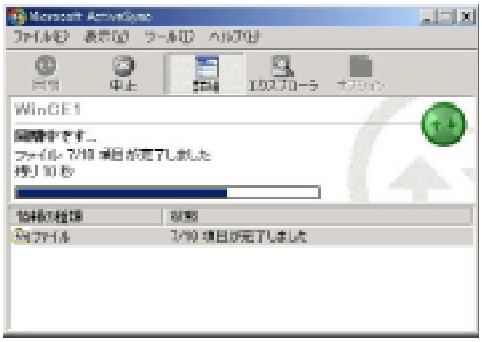
**接続時**を有効にしなかった場合、以下の方法のいずれかで Microsoft ActiveSyncをスタートして下さい:

- デスクトップコンピュータで、マイコンピュータアイコンをダブルクリックし、モバイルデバイスフォルダをダブルクリックして下さい。
- PCとPA962をRS232ケーブルまたはUSBケーブルで接続して下さい。
- PA962のWindowsディレクトリからRepllog.exeを実行して下さい(ActiveSyncはPCとPA962両方のIrDAポートを使用して同期をとるようにセットアップされています)。

IrDAをオンにする方法:

1. PA962の”コントロールパネル”アイコンをクリック
2. “通信”アイコンをダブルクリック
3. “PCとの接続”タブをクリック
4. “接続方法の変更”ボタンをタップ
5. IrDAを選択

選択したオプションに従って同期が取られます。マニュアルで同期を始めるには、**同期ボタン**をクリックして下さい。



同期の必要な各項目を処理するのに数分間かかります。同期が行われていることを示すメッセージが表示されます。

同期が行われた後で、モバイルデバイスウインドウのステータスバーにステータスメッセージが現れます。

## 同期で何が得られるか

以下のセクションでは同期される各種の情報タイプについて説明しています。同期の個々の詳細についてはMicrosoft ActiveSyncのヘルプをご覧下さい。

## ファイル

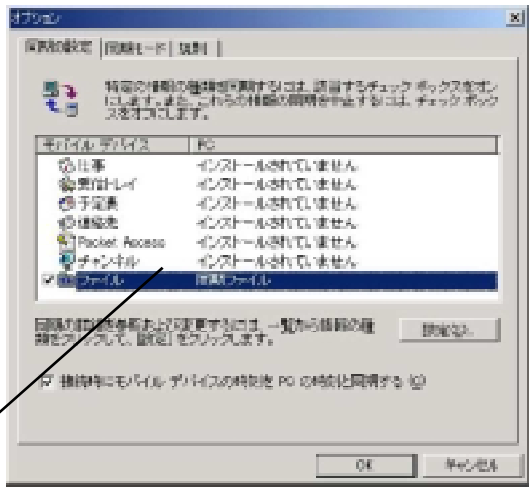
PA962で作成したすべてのファイルは My Document/PA962 My Documents フォルダに保存されます(もしデバイス名を PA962とした場合)。デスクトップコンピュータでPA962 My Documentsアイコンをダブルクリックすることによってこれらのファィルを表示して下さい。
ファイルの同期を有効にした場合、PA962のファイルはPA962で別の名前を選択しない限りデスクトップコンピュータのファイルフォルダWinCE_PC My Documentsに自動的に同期されます。このフォルダは以下の場所のいずれかにあります:

- Windows 95/98: My Documents\WinCE_PC My Documents.
- Windows NT/2000: WINNT\Profiles*your user-name*\Personal\WinCE_PC My Documents.

同期中に、ファイルはPA962とデスクトップコンピュータ間で相互にコピーされます。

## 同期オプションの変更

何時同期させるか、そして何を同期させるかを含む同期オプションを変更することができます。モバイルデバイスウインドウで、**ツール**をクリックし、そして**オプション**をクリックして下さい。
各情報のタイプについて、同期プロセスは同期するデータの量を制限することによって速めることができます。これを行うには、サービスを選択して、**設定**ボタンをクリックして下さい。




**注意:** = PA962はファイルの同期のみをサポートしています。受信トレイ、チャンネル、と仕事はサポートしていません。

= サービスを有効にした後で、オプションボタンがサービスを有効にする前にActiveSyncオプションダイアローグボックスを閉じて、そして再度開かなければなりません。

## ソフトウェアのインストールと削除

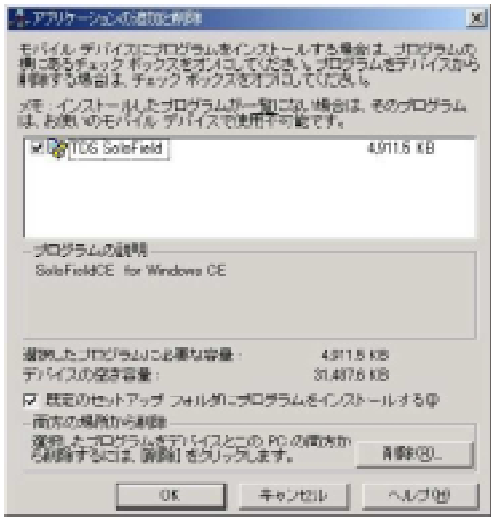
PA962のために作成したプログラムは十分なメモリまたは保存領域があればインストールすることができます。

最初にデスクトップコンピュータにソフトウェアをインストールし、そしてPA962とデスクトップコンピュータを接続します。あるソフトウェアは独自のセットアップ方法があります。多くのソフトウェアはPA962にソフトウェアをインストールしたり削除するのにアプリケーションマネージャを使用しています。モバイルデバイスウインドウで、**ツール**をクリックし、そして**アプリケーションの追加と削除**をクリックして下さい。

アプリケーションマネージャはPA962にまだインストールされていないソフトウェアを検出します。

工場でPA962に書き込まれたシステムソフトウェアとプログラムはFlashROMに保存されています。このソフトウェアの変更や削除はできません。そしてFlashROMの内容は失われることはありません。.

工場でのインストール後に追加されたソフトウェアはRAMまたはFlashROMに保存することができます。




## 受信トレイ

以下は受信トレイの概要です。このプログラムの使い方についてのステップバイステップ情報はPA962のヘルプ機能にあります。ヘルプを見るには、**スタート**、そして**ヘルプ**をタップして下さい

## 受信トレイ中のE-mailの送信と受信

以下の方法のいずれかを使用してe-mailの送信と受信をするために受信トレイを使用します:

- サービスプロバイダまたは企業のネットワークにダイアルアップ接続を使用してメッセージの送信と受信を行います。
- ローカルエリアネットワーク(LAN)に無線ネットワークカードを使用してメッセージの送信と受信を行います。

**注意: 受信トレイでメッセージの送信と受信をすることができますが、この機能はOutlookと同期をとることはできません。**

## メールをリモートで送信

デスクトップコンピュータとのメールメッセージ交換に加え、サービスプロバイダのe-mailアカウントを設定することによってリモートメールサーバとメールを送受することができます。

**注意: ISP(インターネットサービスプロバイダ)のインターネットメールアカウントを設定している場合、ISPはPOP3メールサーバーとSMTPメールゲートウェイを使用しなければなりません。**

ダイアルアップ接続については、PA962にPCMCIAモデムカードまたは外付けのモデムが必要です。接続プログラムを使用してPA962のリモート接続をセットアップする必要もあります。

無線接続については、PA962に無線カードが必要です。**ネットワーク**設定を通してPA962のリモート接続をセットアップする必要もあります。

## リモートメールのセットアップ

メールを得るために複数のメールサービスを使用することができます。アクセスする各メールサービスについて、最初に各メールサービスのセットアップと名前を付けて下さい。別のメールボックスに同じサービスを接続する場合、各メールボックス接続のセットアップと名前を付けて下さい。

PA962の受信トレイで、**サービス**、**オプション**、**サービスタブ**をタップし、そして**追加**ボタンをタップして下さい。セットアップウイザードが各ステップをご案内します。

ISPへのインターネットメール接続を作成するソフトウェアはPA962にプリインストールされています。

## リモートの作業

ダイアルアップ接続を通して受信したメールはPA962の受信トレイフォルダにデスクトップコンピュータと同期したメールと共に現れます。リモートで受信したメッセージはデスクトップコンピュータではなくメールサーバとリンクしています。

オンラインで作業することができます。これはサーバに接続中にメッセージを読んだり応答できることを意味します。メッセージは **送信**をタップするとすぐに送られ、デバイスの容量を節約することができます。

オフラインで作業することもできます。新しいメッセージヘッダまたは一部のメッセージを受信したら、サーバから切断してどのメッセージを完全にダウンロードするかを決めることができます。次回接続時に、受信トレイはマークしたメッセージを自動的にダウンロードし、メッセージを送信します。

## メッセージの受信

デスクトップコンピュータとリモート接続を通して同期することによって受信したメッセージは受信トレイに一緒に現れます。メッセージを読むにはダブルタップして下さい。

インターネットメールサービスに接続した場合、受信トレイは標準では各新しいメッセージの最初の100行のみを受信トレイフォルダにダウンロードします。添付ファイルはダウンロードしません。デスクトップコンピュータと同期したとき、各新しいメッセージの50行だけがメールサーバまたはデスクトップコンピュータに残ります。

次回の同期時またはメールサーバへの接続時に全体を受信したいメッセージをマークすることができます。メッセージを選択し、**サービス**をタップ、そして **全文をサーバからコピー**をタップします。受信トレイメッセージリストのアイコンはメッセージステータスを視覚的に表示します。

サービスの設定時または同期オプションの選択時に、ダウンロード方法を指定して下さい。いつでも変更することができます。

- メール同期のために受信トレイ配達オプションを変更: デスクトップコンピュータのモバイルデバイスウインドウでWinCEアイコンを選択し、 **ツール**をクリック、そして**オプション**をクリックして下さい。**メッセージ**を選択し、そして**オプション**をクリックして下さい。(**オプション**ボタンを有効にするためには、メッセージ同期を有効にしておかなければなりません。)
- リモートメールのために受信トレイ配達を変更: PA962の受信トレイで、**サービス**をタップし、そしてサービス名をタップします。そして再度**サービス**をタップし、**プロパティ**をタップして下さい。

その添付を見る前に完全なメッセージをダウンロードする必要があります。

## メッセージの送信

新しいメッセージを作るには、コマンドバー上の**メッセージの作成**ボタンをタップしてください。**宛先**フィールドにe-mailのアドレスを入力するか、あるいはアドレス帳から名前を選択して下さい。

メッセージを送信するには、**ファイル**と**送信**をタップします。メッセージはPA962の送信トレイに置かれ、以下のいずれかで相手先に送られます:

- 次にデスクトップコンピュータと同期したときExchangeまたはOutlookの送信トレイフォルダに転送されます。
- 次にリモートで接続したときにメールサーバに転送されます。受信トレイの**サービス**メニューで、適当なサービスが選択されたことを確認して下さい。そして**接続**をタップして下さい。

## 無線接続

Windows CEはTCP/IPプロトコルをサポートしていますので、ユーザはモデムまたは無線LANで容易にインターネットに接続することができます。以下の章はPA962をTCP/IPを通してネットワークに接続する方法を紹介しています。

市場にはたくさんのPCMCIA無線LANカードがあります。これらのカードはPA962で無線通信をすることができます。現在、UnitechはCisco 350、Symbol Spectrum、Agere(Lucent OEM 802.11b カード)についてドライバをPA962にプリインストールして提供しています。サポートされているカードを選択することによってPA962の無線通信はプラグアンドプレイで行われます。

無線ネットワークはEthernetネットワークと似ています。違いは各ノード間の通信は有線ではなく無線通信ということです。これはEthernet上で現在使われているアプリケーションの全ては特別な無線ネットワークソフトウェアなしにWLANを使用することができると言う意味です。この図はPA962と無線LANを含む代表的なネットワーク構成を示しています。

## 無線LANカードのインストール

- PA962の電源を切ります。
- スタイラスを外し、ネジを外すためにスタイラスのドライバを使用して、PCMCIAカバーを開けます。
- 必要なら無線LANカードにアンテナを取り付けます(Ciscoのカードはあらかじめアンテナが着いています)。
- 引き抜きタグをアンテナに付けます。
- 無線LANカードをPCMCIAスロットに入れます。

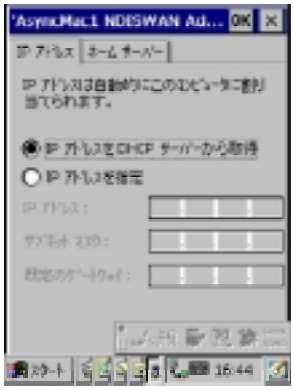
## 無線カードクッション

無線カードクッションの裏側の保護シールをはがして、PCMCIAカバーの上の端の内側に沿って取り付けます。
無線カードクッションはPA962を誤って落としたときに無線LANカードのアンテナの損傷を防ぎます。

PA962にカバーを取り付けます。

## 無線LANカードの設定

PA962はCisco、Symbol SpectrumとLucent WaveLAN (Agere Orinoco)の接続ソフトウェアがあらかじめ実装されています。PA962は自動的にこれらのカードを検出し、最初のインストール時に以下の図を表示します。IPアドレスを設定するには２つの方法があることにご注意下さい。



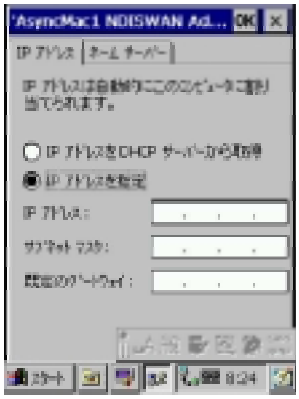
### DHCPサーバーからIPアドレスを得る

皆様のLAN環境でDHCPサーバが使用可能であるかどうかをMS担当の方にご相談下さい。使用可能であれば、**IPアドレスをDHCPサーバから取得**のラジオボタンをタップし、そして**OK**ボタンをタップして下さい。

### IPアドレスの指定

皆様のLAN環境にDHCPサーバがない場合、以下のステップで各PA962に個々のIPアドレスを割り当てます。

- **IPアドレスを指定**のラジオボタンをタップします。
- 適当な**IPアドレス**、**サブネットマスク**、**規定のゲートウェイ**を入力します。
- **ネームサーバ**タブをタップし、適当な**プライマリDNS**、**セカンダリDNS**、**プライマリWINS**、**セカンダリWINS**を入力します。



LAN環境への混乱を避けるために、TCP/IP設定はMS担当者に相談して下さい。

**注意 ： 上記の設定を変更するには、以下のステップを行って下さい:**

- **スタート**、**設定**、**コントロールパネル**をタップします。
- **ネットワーク**アイコンをダブルタップします。
- 無線LANカードドライバを選択し、**プロパティ**ボタンをタップします。

## SSIDのセット方法

**Cisco**

- スタート、ファイル名を指定して実行、参照をタップします。
- Windowsフォルダを選択します。
- Aironet Client Utility.exeを選択し、OKをクリックします。**OK**を再度クリックします。
- SSIDを選択し、OKをクリックします。

## Cisco 350 Site Survey Tool:

Unitech PA962にはあらかじめCisco 350 Site Survey Toolが実装されています。

Site Survey Toolのアクセス方法:

1. **マイコンピュータ**を開きます（またはエクスプローラを使用)。
2. Windowsファイルフォルダを開きます。
3. Site Survey Toolを開きます。

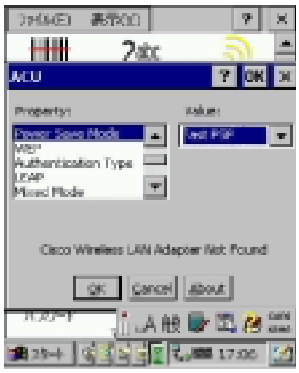
Site Survey Toolの詳細については、Cisco CE マニュアルをご覧下さい。

あるいは、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/wireless/airo_350/350cards/win_ce/hig/ce_appe.htmをご覧下さい。

## 電源管理

(無線LANカードによる電源消費を押さえるために必要。)

### Cisco

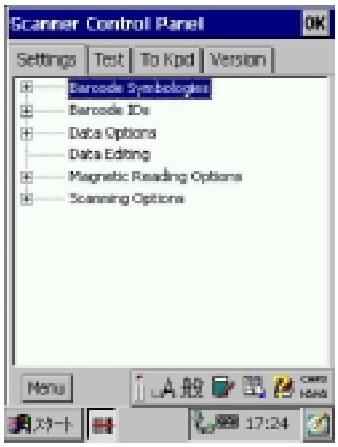


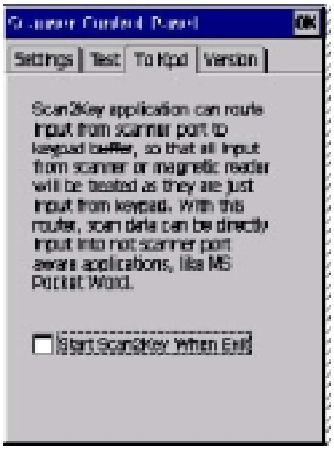

- スタート、ファイル名を指定して実行、参照をタップします。
- Windowsフォルダを選択します。
- Aironet Client Utility.exeを選択し、OKをクリックします。
  OKを再度クリックします。
- Power Save Modeを選択します。MAXPSPを選択します。OKをクリックします。

# 第5章　　便利なアプリケーションプログラム

## Scan2Key

Scan2Keyアプリケーションはスキャナポートからのデータをキーボードバッファに転送するので、スキャナからのすべての入力はキーパッドから入力したように扱かわれます。この機能を使うと、スキャンしたデータはMS Pocket Wordのようなアプリケーションに直接入力することができます。




## スキャナ設定

各アプリケーションで標準のバーコードシンボルの変更を行う必要がある場合、Scanner Control Panelは標準のシンボル変更、スキャンしたデータの後にデリミタ文字を置き、そして設定の保存をすることができます。

Func + 7を実行すると、Scanner Control Panelが表示されます。

**バーコードシンボル:**
以下の表の様にシンボルのカストマイズができます:

| Symbology | Enable Disable | Send Check Digit | Max./Min Length | Send Leading Digit | Other |
|---|---|---|---|---|---|
| Code 39 | Yes | Yes | Yes | | Full ASCII<br>Send Start/Stop Character |
| I 2 of 5 | Yes | Yes | Yes | | Send Start/Stop Character<br>Fix Length |
| S25/Toshiba | Yes | Yes | Yes | | Fix Length |
| Code 32 | Yes | | | | Send Leading Code<br>Send Trailing Code |
| Telpen | Yes | | | | Character Set |
| EAN 128 | Yes | | | | |
| Code 128 | Yes | | Yes | | |
| MSI/Plessy | Yes | Yes | Yes | | Check Digit Module |
| Code 93 | Yes | | Yes | | |
| Code 11 | Yes | Yes | Yes | | One/Two Check Digit |
| CodaBar | Yes | Yes | Yes | | Send Start/Stop Character<br>CLSI Format On |
| Label Code | Yes | Yes | | | |
| UPC-A | Yes | Yes | | Yes | |
| UPC-E | Yes | Yes | | Yes | Zero Expansion On<br>Enable NSC |
| EAN 13 | Yes | Yes | | Yes | Enable Bookland |
| EAN 8 | Yes | Yes | | Yes | |
| Delta Code | Yes | Yes | | | Calculate Check Digit |
| Supplement | | | | | Supplement 2<br>Supplement 5<br>Space Separator Inserted<br>If Present, Transmit / Presence Required |

# 付録 A
# 技術的な仕様

## CPU/ メモリ

| | |
|---|---|
| **CPU** | Intel X-Scale 400MHz CPU、リアルタイムクロック |
| **Flash ROM** | 64MB (Flashメモリマネージャ含む)<br>OSとアプリケーションで32MB使用 |
| **SDRAM** | 64MB |

## 入力/ 出力

| | |
|---|---|
| **入力装置** | タッチスクリーン、スタイラス、キーパッド、英数ソフトウェアキーボード、バーコードスキャナ |
| **キーパッド** | 19キー、バックライト付き、カーソルキー、数字キーパッド、英字キーパッド、TAB、ESC、FUNC、明暗とコントラストコントロールを含む |
| **オーディオ出力** | ソフトウェアボリュームコントロール付きスピーカー |
| **ディスプレイ** | 240 x 320 ピクセル、ポートレート、65535色LCD、タッチスクリーンとバックライト<br>ソフトウェアホットキーで調整可能なコントラスト |
| **LED 表示** | 二色(緑/ 赤)、バーコード読み取り時 |

**スキャナエンジン**

**光源:** 可視レーザダイオード(VLD) 650nm

**スキャン速度:** 39±スキャン/ 秒

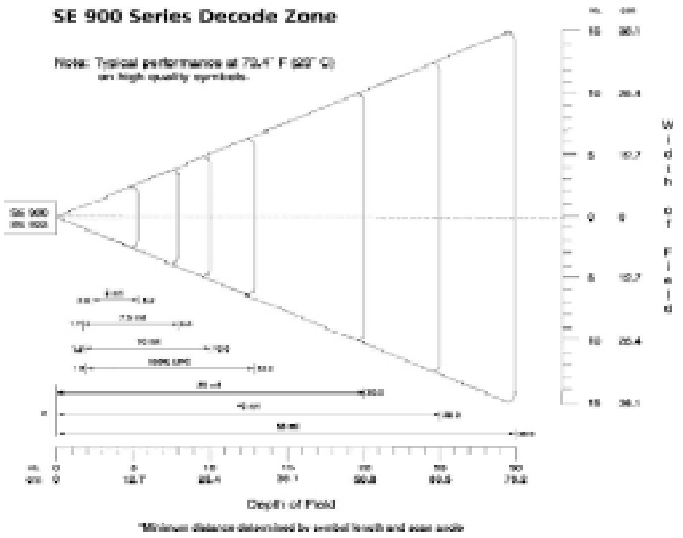
**スキャン角:** ±53°

**最小印刷コントラスト:** 25% 暗/ 明反射 650nm

**消費電力:** 65mA @5V

**読み取り深度:** 次ページ参照

## 読み取り深度




| | Near | Far |
|---|---|---|
| 5 mil | 2.0 in. (5.1 cm) | 5.2 in. (13.2 cm) |
| 7.5 mil | 1.7 in. (4.3 cm) | 8.0 in. (20.3 cm) |
| 10 mil | 1.3 in. (4.6 cm) | 10 in. (25.4 cm) |
| 100% UPC | 1.8 in. (4.3 cm) | 13 in. (33 cm) |
| 20 mil | * | 26 in. (66.0 cm) |
| 40 mil | * | 36 in. (88.6 cm) |
| 55 mil | * | 30 in. (76.2 cm) |
| * Dependent upon symbol width | | |

デコードゾーン

## インターフェースポート

**RS232/ USB/ 充電ポート**　充電およびEIA RS232C、全二重非同期通信、最高転送速度115.2K。

**IrDA**　IrDA 1.2(SIR)対応。転送速度最高115.2K bps。

**PCMCIAとCF**　PCMCIA Type IIスロットとCF Type I & Type IIスロット、メモリ、モデム、無線LANカード等

## 電源

| | |
|---|---|
| **電源オプション** | **リチウムイオン、@7.4V、1800mAHバッテリパック**<br>**(バッテリパックは500回程度充電可能)** |
| | **外部AC/DCアダプタ @12VDC/2A** |
| **消費電力** | **リチウムイオンバッテリ: 8V**<br>**スタンバイモード: 100mA**<br>**サスペンドモード: 5mA** |
| **バッテリ充電** | **3 時間、外付けAC/DCアダプタ**<br>**3 時間、クレードル** |
| **バックアップバッテリ** | **充電可能な1.2V、600mAH Ni-MHバッテリ、データバックアップ用** |
| **電源マネージメント** | **電源消費をステータスバーに表示** |

## バーコードシンボル

| | | |
|---|---|---|
| **シンボル** | Codabar | EAN128 |
| | Code 11 | Interleaved 2 of 5 |
| | Code 32 | Label Code |
| | Code 39 | MSI/Plessy |
| | Code 39 Full ASCII | Standard 2 of 5 |
| | Code 93 | Toshiba |
| | Code 128 | Telpen |
| | Delta Code | Toshiba |
| | EAN-8, 13 | UPC-A, E |

## OSとソフトウェアプログラミングツール

| | |
|---|---|
| **OS** | **Microsoft Windows CE.NET 4.2 Professional Plus** |
| **開発言語** | **Microsoft Embedded Visual C++ 4.0等** |

## 形状と環境

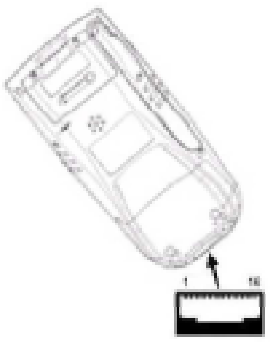
| | |
|---|---|
| **寸法** | **長さ**: 18.5cm<br>**幅:** 8.76cm<br>**奥行:** 4.33cm |
| **重量** | **442g、バッテリ込み** |
| **防水・防塵(ＩP)** | IP 54 |
| **温度** | **動作:** -5°C to 50°C<br>**保存:** -20°C to 60°C |
| **湿度** | **5%から95% RH、結露なきこと** |
| **衝撃** | **1. 2mからコンクリート床への落下** |

## クレードル( ドッキングステーション)

| | |
|---|---|
| **インターフェース** | **RS232Cタイプコネクタ、USBポート各1( PCとの接続)** |
| **電源入力** | **16ピンコネクタ、メインユニットの充電と通信用**<br>**クイック充電、3時間**<br>**AC/ DCアダプタ @12 VDC/ 2A** |

## 充電/ 通信ポートのピン配置

| Pin | Assignment | Description |
|---|---|---|
| 1 | DCD | |
| 2 | RXD | Receive Data |
| 3 | TXD | Send Data |
| 4 | DTR | Data Terminal Ready |
| 5 | SIG | Signal Ground |
| 6 | DSR | Data Set Ready |
| 7 | RTS | Request to Send |
| 8 | CTS | Clear to Send |
| 9 | RI | Ring Indicator |
| 10 | USB 5V | USB 5V |
| 11 | 12V | 12V Input |
| 12 | NC | |
| 13 | NC | |
| 14 | GND | Ground |
| 15 | UDC | USB Differential Data Signal High Side |
| 16 | /UDC | USB Differential Data Signal Low Side |



# 付録 B

# OSのアップデート

## コンパクトフラッシュカードによるOSのアップデート

コンパクトフラッシュ(CF)を使用してPA962のOSをアップデートあるいは再インストールするには、xip.binファイルが必要です(ユニテック・ジャパンから提供します):

**コンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタに入れて下さい。**

**注意: ファイル名はxip.binでなければなりません。改名してはいけません。**
**注意: ユーザのファイルは消去されます!**

1. CFカードのルートディレクトリにPCから”xip.bin”ファイルをコピーして下さい。
2. CFカードをPA962に入れて下さい。
3. 電源アダプタをPA962に入れて下さい。
4. PCMCIAカバーを外します。
5. “0”キーを押しながらPCMCIAカバーの中にあるコールドリセットスイッチを押します。
6. PA962 は以下のスクリーンを表示します:

PA962 Boot Loader Ver 1.35.03
ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð -

1 Update via USB
2 Update Bootloader.(CF)
3 Update OS image.(CF)
4 Update EBOOT + OS.(CF)
5 Cold boot

ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð ð
Enter selection:

7. “Update OS Image.(CF)”を選択するために’3’を押します。Flash ROMの内容は消去され、新しいOSがFlash ROMに書き込まれます。

OSがインストールされた後で、PA962は自動的に新しいOSでコールドスタートします。

# 付録 C

# トラブル処理ガイド

| 問題 | 対応 |
|---|---|
| 電源が入らない | バッテリの充電または交換が必要 |
| | バッテリが正しく装着されていることを確認します |
| 電源が落ちる | " パワーマネージメントプロパティ"を調整 |
| | バッテリの充電が必要 |
| バッテリ使用時間が短い | "パワーマネージメントプロパティ" を調整 - 特に周辺装置使用時 |
| | LCDまたはキーパッドのバックライトを調整 |
| | バッテリパックが古い場合は交換(バッテリパックは約300-500回の充電が可能) |
| "バックアップバッテリ残り少ない"のメッセージ | 16時間以上充電する |
| 画面に何も出ない | 電源が入っていることを確認します |
| | スクリーンの明暗を調整 |
| タッチパネル入力に応答しないか、不正確な入力 | タッチパネルを調整します |
| | ウォームブートを行う - **注意 - 保存していないデータは消えます** |
| | **コールドブートを行う - 注意 - 標準状態にリセットされデータは消えます** |
| バーコードを読まない | スキャナアプリケーションは読み込まれており、使用できることを確認 |
| | バーコード読み取り設定変更のため" Scanner Setting" プログラムを実行します |
| | バーコードが歪んでおり交換が必要です |
| | バッテリを充電または交換する必要があります |
| 電源が切れない | データを処理中の場合、バッテリがなくならないように充電ケーブルを接続します |
| | AC電源に接続されている場合、外します |
| | ウォームブートを行う - **注意 - 保存していないデータは消えます** |
| | コールドスタートを実行 - **注意 - 標準状態にリセットされデータは消えます** |